

WG	テーマ	検討内容
1	北泊地環境改善	周辺地域で発生する港湾・河川の浚渫土による北泊地の浅場化方策の検討を行うとともに、泊地に接する企業用地の護岸について構造物の安定化も考慮したエコ化について検討を行う。
2	スラグ再生材	鉄鋼スラグと浚渫土を混合すると固化することを活用し、海域環境の修復に資する深掘れ窪地の埋め戻しや浅場干潟の造成の用材等としての活用の検討を行う。
3	水質浄化	堺浜人工海浜の直背後護岸に水質浄化プラントを設置し、生物学的、物理的、化学的手法を使って、海水の浄化方策の検討を行う。堺市の実験は2018年度で終了したが、会員企業2社と引き続き同様の実験を継続する。
4	水面活用	木材港の既存遊休水面の環境再生を軸にした活用方策を検討する。（現在WG活動は休止中）
5	エコブロック	大阪府港湾局と住友金属工業(現日本製鉄)で開発、特許取得したエコブロックについて、阪南2区の北側緑地予定地先水面においてさらに利用しやすい形と低コスト化の検討を行う。
6	石炭灰再生材	火力発電所から副産される石炭灰を固化加工したアッシュクリートについて、阪南港木材地区水面において海域環境改善効果の確認を行う。
7	水中構造物	新たに構築される海中部の護岸や橋脚、老朽化した施設について補修時及び津波対策のための強化時におけるエコ化等に関して検討を行う。
8	二枚貝養成	二枚貝による栄養塩の回収実験を行うとともに、貝の毒化と植物プランクトンの出現状況を調査する。
9	建設系副産物	建設廃棄物、鉄鋼スラグ、石炭灰、ガラス端材、クラッシャーラン等の建設系副産物等の海域環境改善を目指した活用方策を検討する。